

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第8週の発生動向

全数報告の感染症 (8週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核4例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	女	肺結核	症状なし
			50歳代	女	肺結核及び頸部リンパ節結核	頸部腫瘍
			70歳代	女	肺結核	咳、痰
		都城	50歳代	女	肺結核	咳、痰
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	延岡	0~4歳	男	—	菌血症

定点把握の対象となる5類感染症

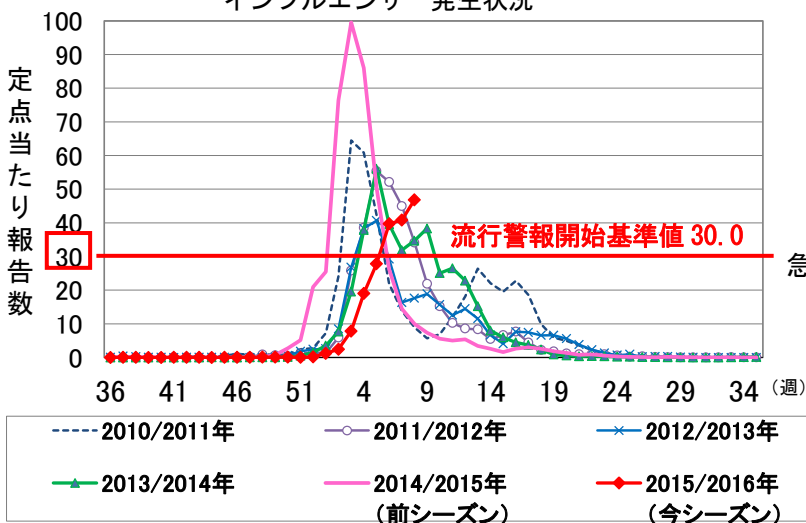
・定点医療機関からの報告総数は3,545人(定点当たり70.9)で、前週比105%とやや増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

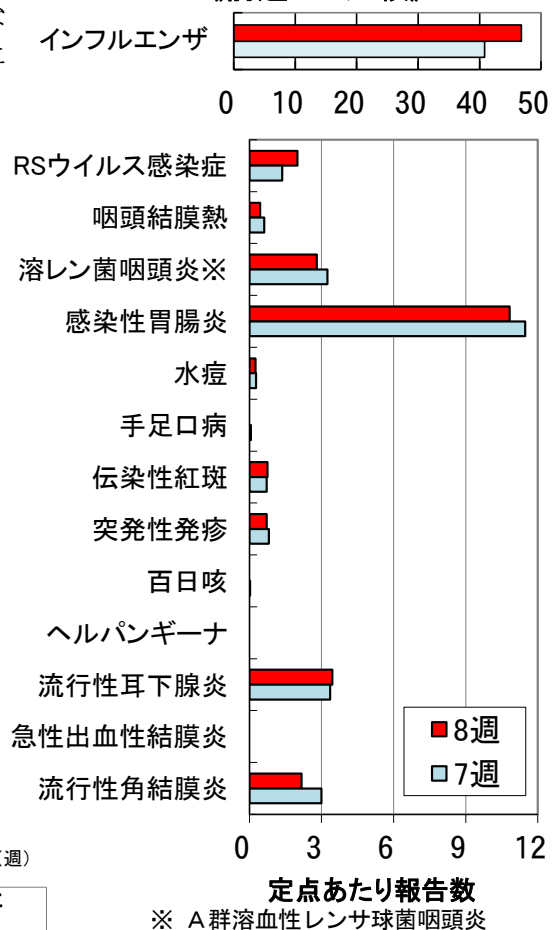
【インフルエンザ】

・報告数は2,762人(46.8)で、前週比115%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(21.3)の約2.2倍であった。延岡(62.7)、都城(55.0)、日向(50.8)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の24%、5-9歳が41%、10-14歳が16%、15-19歳が3%、20-59歳が13%、60歳以上が3%を占めた。詳細後述。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値
インフルエンザ発生状況



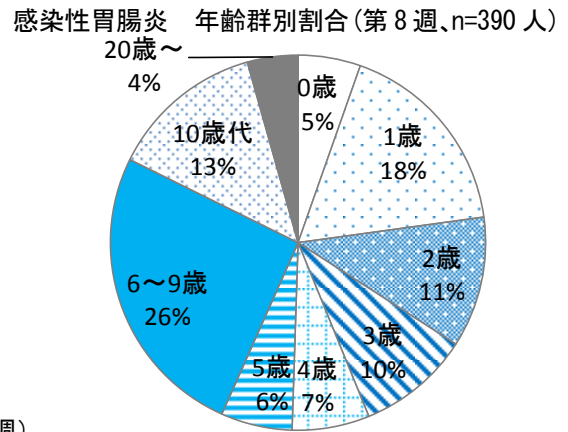
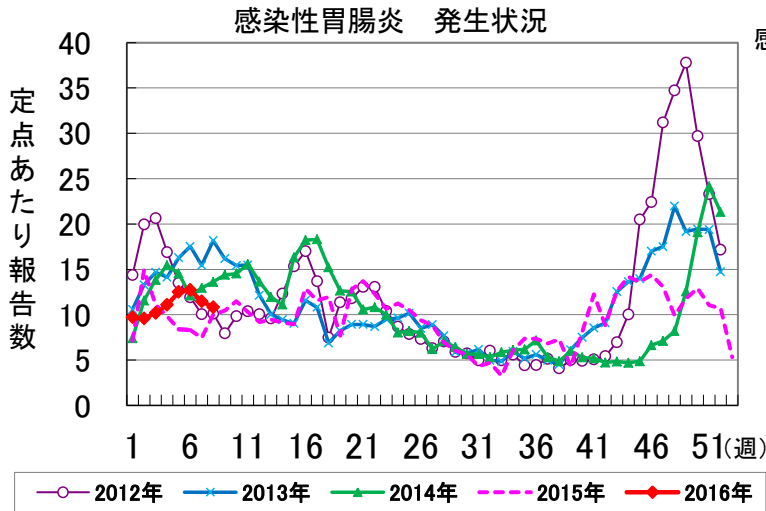
《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

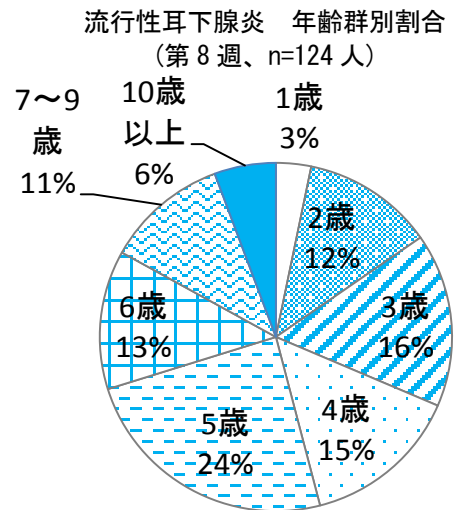
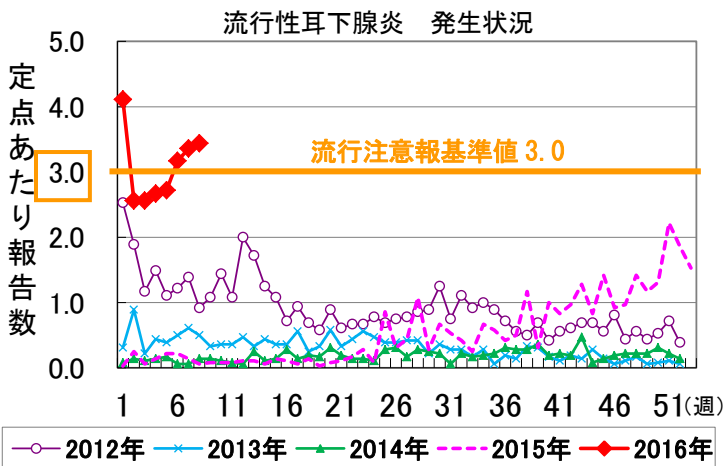
【感染性胃腸炎】

・報告数は390人(10.8)で、前週比94%とやや減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(13.6)と約0.8倍であった。日南(21.3)保健所からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約4割を占めた。



【流行性耳下腺炎】

・報告数は124人(3.4)で、前週比102%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値*(0.82)の約4.2倍であった。延岡(14.0)、日向(6.0)保健所からの報告が多く、年齢別はグラフに示す。



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所から1例報告があった。0~4歳であった。

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：高鍋保健所から3例、日向保健所から1例報告があった。0~4歳が3例、10歳代が1例で、いずれも病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(49.6)
都城	インフルエンザ(55.0)、流行性耳下腺炎(3.5)
延岡	インフルエンザ(62.7)、流行性耳下腺炎(14.0)
日南	インフルエンザ(31.4)、感染性胃腸炎(21.3)
小林	インフルエンザ(35.2)、流行性耳下腺炎(5.7)
高鍋	インフルエンザ(34.2)
高千穂	インフルエンザ(24.5)
日向	インフルエンザ(50.8)、流行性耳下腺炎(6.0)
中央	インフルエンザ(43.5)

流行警報レベル開始基準値

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

流行注意報レベル基準値

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成28年2月29日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
EPEC(O20:H6)	40歳代	女	2016.2.8	無症状	便	2016.2.23
EPEC(OUT:HUT)	20歳代	女	2016.2.15	—	便	2016.2.24

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	材料	検出日
RSウイルス	0～4歳	女	2016.02.10	喘息様気管支炎、40℃	咽頭ぬぐい液	2016.02.25
ライノウイルス	0～4歳	男	2016.02.03	上気道閉塞、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.02.25
ライノウイルス	0～4歳	女	2016.02.03	横紋筋融解症、ウイルス性筋炎疑い 39℃、下気道炎 循環器障害、腎機能障害	咽頭ぬぐい液	2016.02.25
ライノウイルス	0～4歳	女	2016.02.15	無呼吸発作	咽頭ぬぐい液	2016.02.25
インフルエンザAH1pdm09型	5～9歳	男	2016.01.22	インフルエンザA型、39.8℃ 胃腸炎	鼻汁	2016.02.23
インフルエンザAH1pdm09型	0～4歳	男	2016.01.28	インフルエンザA型、39.8℃ 下痢	鼻汁	2016.02.23
インフルエンザAH1pdm09型	0～4歳	女	2016.02.04	インフルエンザA型、38.3℃ 上気道炎	鼻汁	2016.02.23
インフルエンザB型 (ビクトリア系統)	10歳代	男	2016.01.21	インフルエンザB型、38.4℃ 上気道炎	咽頭ぬぐい液	2016.02.23
インフルエンザB型 (ビクトリア系統)	5～9歳	女	2016.01.28	インフルエンザB型、39.7℃ 咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2016.02.23
インフルエンザB型 (山形系統)	10歳代	男	2016.01.26	インフルエンザB型、発熱	鼻汁	2016.02.23
インフルエンザB型 (山形系統)	5～9歳	男	2016.02.03	インフルエンザB型、40℃	鼻汁	2016.02.23

○インフルエンザと診断された7名の咽頭ぬぐい液及び鼻汁からインフルエンザウイルスを検出した。本県における今シーズンの検出数をみると、AH1pdm09型6件、AH3型1件、B型(ビクトリア系統)8件、B型(山形系統)2件であり、A型はAH1pdm09型、B型はビクトリア系統が多い傾向にある。全国では、AH1pdm09型が最も多く、ついで、B型(ビクトリア系統)、B型(山形系統)、AH3型の順に多い。定点医療機関当たり報告数は全国的に減少傾向にあるが、本県では、警報レベルが続いているため、今後も引き続き注意する必要がある。

🇯🇵 全国 2016 年第 7 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 7 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	317 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	9 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	9 例	A型肝炎	9 例	デング熱	3 例
	日本紅斑熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	13 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	15 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例
	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例	水痘(入院例)	1 例
	梅毒	42 例	播種性クリプトコックス症	2 例	風しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 95%とやや減少した。前週と比較して増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 184, 176 人(37.2)で前週比 93%と減少した。愛知県(55.5)、広島県(46.9)、石川県(45.3)からの報告が多く、21 都道府県で前週と比較して増加している。また、36 都道府県で流行警報開始基準値(30.0)を上まわっている。年齢別では 5 歳未満が 21%、5-9 歳が 33%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 4%、20-59 歳が 21%、60 歳以上が 5%であった。

流行性耳下腺炎の報告数は 2, 681 人(0.85)で前週比 116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.41)の約 2.1 倍であった。宮崎県(3.4)、佐賀県(2.9)、石川県(2.8)からの報告が多く、年齢別では 4-6 歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第8週(2月22日～2月28日)

疾病名		第7週	第8週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2408	2762	794	550	439	157	176	205	49	305	87
	定点あたり	40.81	46.81	49.63	55.00	62.71	31.40	35.20	34.17	24.50	50.83	43.50
RSウイルス 感染症	報告数	49	72	14	8	22	7	3	6	5	6	1
	定点あたり	1.36	2.00	1.40	1.33	5.50	2.33	1.00	1.50	5.00	1.50	1.00
咽頭結膜熱	報告数	22	16	10	4	1	1					
	定点あたり	0.61	0.44	1.00	0.67	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	117	101	40	24	7	13		3		12	2
	定点あたり	3.25	2.81	4.00	4.00	1.75	4.33	0.00	0.75	0.00	3.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	413	390	70	40	32	64	52	58	14	55	5
	定点あたり	11.47	10.83	7.00	6.67	8.00	21.33	17.33	14.50	14.00	13.75	5.00
水痘	報告数	10	9	4	2	2			1			
	定点あたり	0.28	0.25	0.40	0.33	0.50	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	26	27	11	8		4	3	1			
	定点あたり	0.72	0.75	1.10	1.33	0.00	1.33	1.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	26	8	4	2	1	8	2		1	
	定点あたり	0.81	0.72	0.80	0.67	0.50	0.33	2.67	0.50	0.00	0.25	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	121	124	2	21	56		17	4		24	
	定点あたり	3.36	3.44	0.20	3.50	14.00	0.00	5.67	1.00	0.00	6.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	13	9	3	1						
	定点あたり	3.00	2.17	3.00	1.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	10	4						3		1	
	定点あたり	1.43	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～8週)

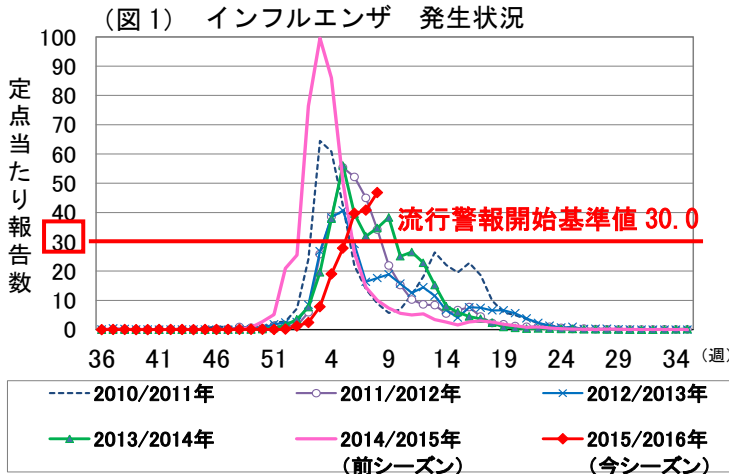
2類感染症	結核	32例(4)			
4類感染症	A型肝炎	2例	つつが虫病	3例	
	アメーバ赤痢	3例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	1例	梅毒	3例	播種性クリプトコックス症 2例

()内は今週届出分、再掲

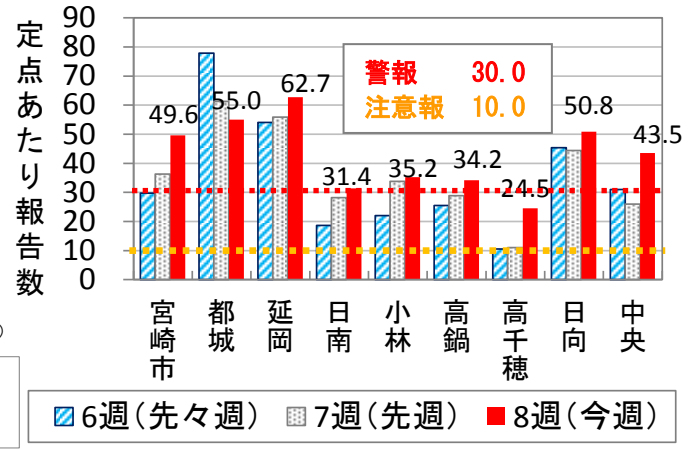
インフルエンザ情報 《県内第8週、全国第7週（再掲）》

□ 県内第8週インフルエンザ発生動向

2016年2月22日～2月28日までの1週間で2,762人（定点あたり46.8）の報告があった。前週の約1.2倍と増加し、例年同時期の定点あたり平均値*（21.3）の約2.2倍であった（図1）。保健所別は延岡(62.7)、都城(55.0)、日向(50.8)保健所からの報告が多く（図2）、年齢群別では5歳未満が全体の24%、5-9歳が41%、10-14歳が16%、15-19歳が3%、20-59歳が13%、60歳以上が3%を占めた（図3）。



(図2) インフルエンザ保健所別推移(第6～8週)

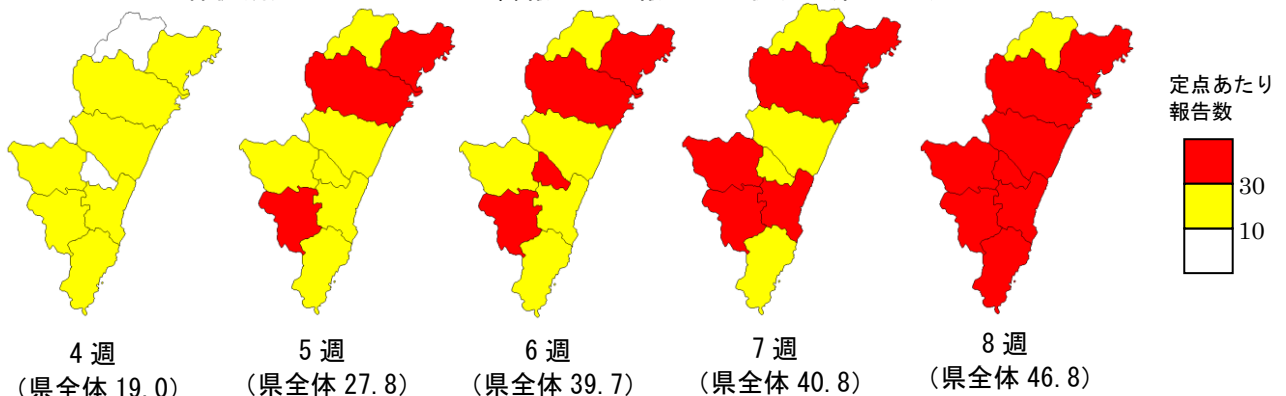


(図3) 年齢群別割合の推移(第4～8週)

週	1,121人	1,638人	2,342人	2,408人	2,762人	
4週	16%	41%	21%	3%	16%	3%
5週	21%	38%	21%	3%	15%	2%
6週	24%	34%	19%	4%	17%	2%
7週	25%	37%	16%	4%	15%	3%
8週	24%	41%	16%	3%	13%	3%

5歳未満
 5～9歳
 10～14歳
 15～19歳
 20～59歳
 60歳以上

保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第4～8週



□ 全国第7週インフルエンザ発生動向

2016年2月15日～2月21日までの1週間で184,176人(37.2)で、前週比93%と減少した。前週と比較して増加したのは21都道府県で、特に愛知県(55.5)、広島県(46.9)、石川県(45.3)からの報告が多い。また、36都道府県で流行警報開始基準値(30.0)を上まわっている。年齢別では5歳未満が21%、5-9歳が33%、10-14歳が16%、15-19歳が4%、20-59歳が21%、60歳以上が5%であった。